



耕心 ～夢追いかけて～

佐世保市立吉井中学校
学校だより 第17号
文責 校長 川口 貴晴
令和3年8月9日(月)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成
【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校
【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



絶対に忘れてはならない8・9

「今日8月9日は、何の日か知っていますか？」
これは、昨年度の「耕心第24号」
の書き出し部分です。

6・29平和集会の際に実施したアンケートで「8月9日」を知っていた生徒は何と「84名」でした。「84名だけ」や「84名も」と意見が分かれることでしょうけれども、私個人としては「84名とは何とも悲しく、残念・・・」という思いでいっぱいです。ちなみに、年月日時間まで知っていた人はわずかに16名でした。(広島については13名)



長崎県は、平和教育にとっても力を入れており、毎年学校で「県民祈りの日」の集会が実施されるのはもちろんのこと、「高校生平和大使」や「高校生1万人署名活動」など、若い世代が核兵器廃絶や世界平和を願っての活動をしています。

私たちは、直接活動に参加をしないまでも、歴史的な事実を知り、未来永劫に世界平和を願い、実現するために、それぞれの立場で、それぞれの「何か」をしていかなければならないと思います。私たち吉井中学校全教職員は、日々の「平和教育」「平和学習」「平和集会」などを通して、平和を愛し、世界平和を創造していく生徒を育みたいと考えています。当然、まずは「いじめのない学校」「安心安全な学校」づくりこそが第一歩と考え、全身全霊を込めて取り組んでいます。

本日の平和集会は、コロナと暑さ対策のため従来の集会形式ではなくリモートを使って、各教室で行いました。実行委員長の坂口 怜さんの挨拶に続き、長崎で被爆された谷口 稜嘩(たにぐちすみてる)さんの動画や資料を基に平和について学びました。11時2分に黙とうを捧げた後に、吉井中平和宣言を行い、副実行委員長の濱野翔稀さんの挨拶で終了しました。今日の学びを通して、平和についてしっかり考えてほしいと思います。

令和3年度 佐世保市立吉井中学校平和宣言

○私たちは、いじめや差別をなくし、思いやりの心を持って命を大切にします。



○私たちは、互いを認め合い、ひとりひとりの人権を大切にします。

○私たちは、次の世代のために平和を維持します。

令和3年8月9日 佐世保市立吉井中学校生徒一同

特攻隊員の遺言・・・平和の大切さ

鹿児島県の知覧には第2次世界大戦中に特別攻撃隊(特攻隊)の基地がありました。そこから生命を賭して出撃していった若者の母親への感謝の手紙(遺書)から、平和について真剣に考えてほしいと思います。(知覧特攻平和会館は、今秋、修学旅行で3年生が訪問予定です。)



《林 市造海軍少尉の母親への感謝の手紙》
1945年4月12日 特別攻撃隊員として沖縄(南西諸島方面)にて戦死。京都大学経済学部卒業。享年23歳。

「お母さん、とうとう悲しい便りを出さなければならぬ時が来ました。『親思う心にまざる親心今日のおとずれなんとときくらん』この歌がしみじみと思われまふ。ほんとに私は幸福だったです。わがままばかり通しましたね。けれども、あれも私の甘え心だと思って許して下さいね。晴れて特攻隊員と選ばれて、出陣するのは嬉しいのですが、お母さんの事を思うと泣けてきます。母ちゃんが私を頼みと必死で育ててくれた事を思うと、何も喜ばせることができずに、安心させる事もできずに死んでいくのがつらいです。私は至らぬ者ですが、私の事を母ちゃんに諦めてくれと言うことは、立派に死んだと喜んで下さいと言う事はとてもできません。けど余りこんな事は言いません。母ちゃんは私の気持をよく知っておられるのですから。この手紙は出撃を明後日に控えて書いています。ひょっとすると博多の上を通るかも知れないので楽しみにしています。陰ながらお別れしようと思って。でも私は技量抜群として選ばれるのですか(裏面へ)

ら、喜んで下さい。私たちぐらいの飛行時間で第一線に出るなんかほんとは出来ないのです。ともすれば、ずるい考えに、お母さんの傍に帰りたいという考えに誘われるのですが、これはいけない事なのです。「許して下さい」とこれはお母さんにも言わねばなりません。お母さんは何でも私のした事を許して下さいますから安心です。私はお母さんに祈って突っ込みます。お母さんの祈りは、いつも神様はみそなはして下さいますから。この手紙、絶対に他人に見せないで下さいネ。やっぱり恥ですからネ。もう死ぬという事が何だか人ごとの様に感じられます。いつでもまた、お母さんに逢える気がするのです。逢えないなんて考えるとほんとに悲しいですから。」(ほぼ原文通り)

【母マツヘさんの手記】

泰平の世なら市造は、嫁や子供があつて、穏やかな家庭の主人になっていたでしょう。けれども、国をあげて戦っていたときに生まれ合わせたのが運命です。日本に生まれた以上、その母国が、危うくなった時、腕をこまねいて、見ていることは、できません。そのときは、やはり出られる者が出て防がねばなりません。「一億の 人を救ふはこの道と 母をもおきて 君は征きけり」

【辺見じゅん編「父へ、母へ、最後の手紙～昭和の遺書①～」 角川文庫より】



新しいスクールカウンセラーさん

新しく本校に着任される職員を紹介します。

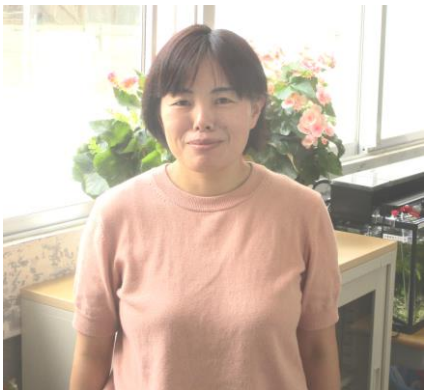
この度諸事情により新しいスクールカウンセラー(SC)が着任されました。生徒のみならず保護者の皆様もいろいろな場面でお世話になることもあります。ご自身からの自己紹介を載せますので、早く名前と顔を覚えてください。



☆福井 幸子(ふくい さちこ)さん【SC】

原則・金曜日に勤務します。(10:00~16:35)

●この度、スクールカウンセラーとしてお世話になります福井幸子です。カウンセリングと聞くと皆さんはどんなイメージを持ちますか？実はカウンセリングって本当はもっと身近なものなんです。例えば、友達とけんかをしてしまって心がもやもやしている。どうやって仲直りをすればいいのかなあ、何もやる気が出ないなあ、など皆さんがちょっと誰かに話を聴いてもらいたい、愚痴を言いたいときに、ぜひ気軽に話をしに来てください。皆さんといろいろな話ができるのを楽しみにしています。



7月の表彰・頑張ったね

7月20日に行った伝達表彰は以下の通りです。吉井っ子は、運動面も文化面も頑張っています！

【敬称略】

○第67回全日本中学校通信陸上競技大会長崎県大会
・男子共通 走幅跳 第3位 松本 一馬

○第71回「社会を明るくする運動」佐世保地区弁論大会

・努力賞 八波 彪人

○令和3年度 佐世保市少年の主張大会
・賞 福本 拓士



暑中お見舞い申し上げます

夏休みが始まって、約半分が経過しました。生徒の皆さんは、どのように過ごしていましたか。猛暑(酷暑)続きで体調を崩していませんか。まさかテレビの前で「オリンピック観戦漬けだった」なんてことはありませんよね。

夏休みになっても、部活動・自主学习・Nコン練習などで多くの生徒が毎日のように登校してきます。その様子を見る限りでは、暑さに負けず、きつい練習(勉強)にも耐えて頑張っている姿が見て取れます。地域などからの情報提供や苦情等は、先日の「爆竹事件」以外に、大きいものはありません。これが一番うれしいことです。学校にいる姿と学校外の姿に差がなく、健全に過ごしているのだということの証明です。ありがたいことです。

夏休みの課題についても計画的に頑張りました。課題の提出は当然ですが、ただ提出をするだけでは意味がありません。「丁寧に、きちんと仕上げる」ことが何より重要です。これは、前期の評価にもつながります。評価はテストの結果だけではしませんが、その点を肝に銘じておいてください。最後に、東京オリンピックが終わりました！開催について賛否両論あったオリンピックでしたが、選手たちからたくさんの元気と感動をもらったことは事実です。多くの選手が「感謝」と「夢」を口にしていました。今までの大会以上だったと思います。私たちも平和だからこそ、誰かが頑張ってくれているからこそ安心して生活できていることに感謝したいものです。

とにかく残り半分の夏休みも安心・安全・健全に過ごしてほしいと願うばかりです。



保護者様

三者面談や家庭訪問では大変お世話になりました。ご多用な中に仕事をお休みしていただくなど、お時間をいただきましたことに感謝いたします。担任からは有意義な話し合いができたことと報告を受けています。特に三年生の三者面談では、受験に向けてのスイッチを入れるよい機会になったと聞いています。今回お聞かせいただいた貴重な情報は、今後の教育活動に大いに役立たせていただきます。重ねて、本当にありがとうございました。

夏休みも残り半分となりました。学校でも健全で、充実した夏休みになるように指導をいたしますが、ご家庭でも引き続きお子様にお声かけいただけますようよろしくお願いいたします。

まだ暑い夏が続きます。保護者の皆様もお身体を十分にご自愛ください。感染症にもお気をつけください。



